

平成21年度 鶴の里懇話会



1 / 25六郷地区

鶴の里懇話会 開催日程・参加人数

水元地区 / 1月25日
廻堰文化センター
参加者 19人

鶴田地区 / 1月27日
豊明館
参加者 23人

梅沢地区 / 2月3日
横菴ふれあいセンター
参加者 26人

六郷地区 / 2月8日
境・胡桃館ふれあいセンター
参加者 27人

上三地区 / 2月9日
あやめふれあいセンター
参加者 17人

町民の皆さんの声を直接伺い町政に反映させようと、町では今年も『鶴の里懇話会』を開催しました。1月25日から2月9日にかけて町内5地区で開かれ、出席した延べ112人の方々からは率直な意見やさまざまな質問が出されました。その一部を紹介します。

◆事前通知分懇談会から

観光振興の取り組みについて

Q 富士見湖パークには観光客が（冬期間を除いて）年々減少していますが、リゾートしらかみで来ています。

せっかく来ても観光客は鶴田町にお金を落としていきません。そこで富士見湖パークで小さなあるじやのように農産物を販売してはどうでしょうか。

A

【商工観光課長】
富士見湖パークで、「小さなあるじやのように農産物を販売してはどうでしょうか」とのことです。

富士見湖パークの駐車場付近には、町で整備し、商工会が管理運営をしております。売店と、旧水元村農協、今は合併しましたのでJAつがるにしきたであります。農協で整備し、そば、うどんなど軽食を提供する食堂があります。売店4店舗と食堂1店舗が、冬期間を除いて営業をしております。
今現在、町が商工会に管理運営

を委託している売店には空きスペースもないため、小さなあるじやのように農産物を販売するためのコーナーを建物として新たに設けることは厳しいと判断しているところでもあります。

しかしながら、常設の店舗を構えることなく、自ら農産物の販売に係りたい農家により組織化がされるなどしたときには、パークの駐車場を含めた一定のスペースの解放は、検討があつてしかるべきと思っております。

健康増進について

Q レクリエーションダンス（健康ダンス）の会を作つて欲しいと思います。

体を動かしメタボリックシンドローム予防のために皆さんが参加できるように冬場は昼に、冬場以外は夜に、ひとりでも多く集まるように楽しい笑顔で鶴田の町に。

A

【町民生活課長】
ご意見のとおり健康づくりに、体を動かすことはとても大切なことであり、また、人間に



△2 / 3梅沢地区

とつて健康は最も貴重な財産であると思っております。

現在、鶴田町には広報等でお知らせしているとおり、健康づくりを目的とした「つるた生き生きソランの会」があります。この会は9年前から取り組んでおり、今年も1月26日から毎週月曜日の夜6時から8時まで鶴遊館で6か月間実施しますので、ぜひご参加ください。

また、健康づくりの一環として、昨年からは鶴遊館の入浴者を対象に健康体操の「つるた夢体操」を実施したところ、とても好評を博しております。これまで地域の要望に応えるために、ニコニコ教室には24か所、各種団体等には10か所に出向いて指導しており、今後は全地域に定着しつづつあるものと思っております。

メタボ対策としては、昨年からは鶴田町立中央病院に県立中央病院の医療管理監であり、対メタボ戦

略の第一人者であります小野正人先生が勤務されておりますので、プロジェクトチームを中心に行政と医療が綿密な連携を図りながら生活習慣病等の抑制を促進するなど健康増進事業を展開して、健康長寿のまちづくりに努めていきたいと考えております。

町のゴミ袋について

Q せっかく買った古いゴミ袋が残っていて使えないのはとても残念です。

どうにか使い切るような良い方法はありませんか。(またごみを出して使い切るような方法)

A 【町民生活課長】 町民の皆様には、昨年ごみ袋の不足などで大変ご不便をおかけしましたこと対しまして深くお詫び申し上げます。

各家庭で保有している旧ゴミ袋の使用方法については、昨年10月末のお知らせ版配布時に每户配布しておりますが、その内容は、町(町民生活課)で発行する1枚15円の有料化シールを可燃、不燃のごみ袋に拘わらず旧ごみ袋に貼ると有料化後のごみ袋と同様に使用できるというお知らせを配布しております。

今後も、家庭で保有している旧ごみ袋の使用について広報等でお

知らせしますので、疑問やご要望がございましたら町民生活課へお問い合わせください。
また、ごみ処理手数料の有料化についても、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆自由懇談会から

中核病院について

Q 五所川原市に中核病院ができるかと鶴田病院は診療所化するという話ですが、今年はどうなっているか。

A 【町立病院事務長】 中核病院は、金山から市役所の左側、駐車場の所に建設することになりました。金山の方は、だいぶ面積を広くとったんですが、駐車場を屋外駐車場と考えて



△2 / 9上三地区

いたためです。ただし、用地を10億円で買う必要があり、それが各市町村の財政負担になりますので、弘大の先生方に聞いたところ、中核病院は医療機能を確保できればよい、立体駐車場にすれば多くの面積を必要としないとのことから五所川原市役所の隣に建設することになりました。立体駐車場400台です。予算額が17.2億円です。そのなかに50億円の医療機械が含まれています。その医療機械のなかの18億円ほどに地域医療再生基金が25億円ありますのでそれが充当されています。いま現在基本設計をやっている3月末までに完了することになっています。平成22年度から実施設計をやりま



△1 / 27鶴田地区

す。実施設計になりますと起債と

半くらい掛けてやって着工ということになります。ですので、23年

経済雇用対策について

の秋頃から着工して25年4月頃には完成する予定になっています。ただ開院については、引越しま

りますが、先般知事が20億円の経済雇用対策を発動しました。津軽地方に手厚くやったものかどうか分かりますか。

A 【総務課長】 県単独の20億円というものでいえば、県が主導を握ってやる事業ですので雇用対策とかになります。町の方では、逆にどういった形のものをお願いするかは、各課の考え方です。町の方ではどうかという、きめ細かな臨時交付金というお金が8100万円国からきておりまして、道路等にあてがっているわけです。そういうもので景気の浮揚策は町としても行っています。津軽地域全体で県の20億円に対してどの程度のものか予測は付きませんが、何らかの形で雇用対策がされるものと思います。



△1 / 25廻堰地区

【町長】 南部の方はどんどん景気が良くなっている。西北五は青森県の中でも一番所得が低いし、人口も少なくなっている。地域に元気が出るようにしていかなければならないかというのは、鶴田町ばかりでなく西北五が一緒になって広域連合を組織していますので、五所川原市の平山市長を中心に活性化していかなければならないと思っています。